

手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議 (平成29年度第1回)

日時：平成29年6月23日（金）午後3時30分～5時

場所：鳥取県庁 特別会議室（議会棟3階）

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 報告事項

- (1) 手話パフォーマンス甲子園実行委員会設置運営要綱の一部改正について（資料1）
- (2) 委員の委嘱について（資料2）
- (3) 参加チームの申込み状況について（資料3）

4 議 題

- (1) 議案第1号
第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園実施計画について（資料4）

5 その他

- (1) 協賛の募集について（資料5）
- (2) 今後の日程について（資料6）
- (3) 平成29年度予算及び平成28年度決算について（資料7）
- (4) その他

6 閉 会

※ 赤字の下線部を追加し、青字取消線の部分を削除する改正を行いました。

手話パフォーマンス甲子園実行委員会設置運営要綱

(名称)

第1条 この会は、手話パフォーマンス甲子園実行委員会（以下「本会」という。）と称する。

(目的)

第2条 本会は、ろう者と聞こえる人が互いを理解し共生することができる社会を築くため全国初の手話言語条例を制定した鳥取県において手話パフォーマンス甲子園（以下「大会」という。）を開催し、全国の高校生が手話を使って様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話を身近なものとして理解してもらうとともに、手話とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、大会の円滑な実施及び運営を図るため、次の事業を行う。

- (1) 大会の企画、準備及び運営に関すること
- (2) その他大会の目的を達成するために必要なこと

(構成)

第4条 本会は、会長、委員及び監事で構成する。

- 2 会長は、鳥取県知事とする。
- 3 委員及び監事は、別表1に掲げる職にある者をもって充て、会長が委嘱する。

(職務)

第5条 会長は、本会を代表し、会務を総理する。

- 2 会長に事故のあるとき若しくは会長が欠けたとき又は会長が必要と認めるときは、あらかじめ会長が指定した委員が、その職務を代行する。
- 3 監事は、財務及び会計を監査する。

(任期)

第6条 会長、委員及び監事の任期は、2年とする。ただし、平成27年2月23日に委嘱する委員については平成29年3月31日までとし、再任を妨げない。

(報酬)

第7条 会長、委員及び監事の報酬は、無報酬とする。

(会議)

第8条 本会の会議は、総会とする。

- 2 総会は、会長及び委員をもって構成する。

(議決事項)

第9条 総会は、次の事項について審議し、決定する。

- (1) 大会開催計画並びに予算及び決算に関する事項
- (2) この設置運営要綱の改廃に関する事項
- (3) その他本会の運営に関する重要な事項

(運営及び議決)

第10条 総会は、会長が招集し、会長はその議長となる。

- 2 総会は、委員の過半数が出席しなければ開会することができない。ただし、欠席する委員からあらかじめ会長あて、その権限を会長に委任する旨の届出があったときは、当該欠席委員の数を出席委員の数に加えることができる。
- 3 委員は、やむを得ない理由があるときは、その代理人を総会に出席させることができる。この場合は、当該代理人には、当該委員と同一の権限を付与するものとする。

- 4 総会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。
- 5 会長は、必要と認めるときは、総会に有識者及びその他関係者の出席を求め、意見又は説明を聞くことができる。

(会長の専決処分)

第11条 会長は、総会を招集する時間のない場合、総会の議決事項については、これを専決処分することができる。

- 2 前項の規定により専決処分したときは、会長は、これを次の総会において報告し、その承認を求めなければならない。

(企画推進会議)

第12条 本会は、第3条の事業遂行上必要な専門的事項を企画、検討するため、企画推進会議を置く。

- 2 企画推進会議は、委員長及び委員で構成する。
- 3 企画推進会議の委員長は、鳥取県福祉保健部長鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局長とする。
- 4 企画推進会議の委員は、別表2に掲げる職にある者をもって充て、会長が委嘱する。
- 5 委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長が指定した委員が、その職務を代行する。
- 6 第6条及び第7条の規定は、企画推進会議において準用する。この場合において、「会長、委員及び監事」とあるのは「委員長及び委員」と読み替えるものとする。
- 7 企画推進会議は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。
- 8 第10条第2項から第5項までの規定は、企画推進会議において準用する。この場合において、「総会」とあるのは「企画推進会議」に、「会長」とあるのは「委員長」にそれぞれ読み替えるものとする。
- 9 前8項に定めるもののほか、企画推進会議に必要な事項は、会長が別に定める。

(事務局)

第13条 本会の事務を処理するために、事務局を置く。

- 2 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(経費)

第14条 本会の事業実施及び運営に要する経費は、助成金、負担金及びその他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第15条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日をもって終わる。

(予算及び決算)

第16条 本会の収支予算は、総会の議決により定め、収支決算は監事の監査を経て、総会の承認を得なければならない。

(資産の管理)

第17条 本会の資産の管理は、会長がこれを行う。

(解散)

第18条 本会は、第2条の目的を達成したときは、総会の議決を経て解散する。

- 2 本会が解散するときの収支決算において、剰余金が生じたときは、総会の議決を経て処理する。
- 3 第1項の規定にかかわらず、本会は清算の目的の範囲内において、その清算の終了に至るまでは、なお存続するものとみなす。

(補則)

第19条 この要綱に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成27年2月23日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年2月17日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年6月20日から施行する。

別表1

実行委員及び監事（第4条関係）

役 職	所 属 ・ 役 職 名
委 員	一般財団法人全日本ろうあ連盟事務局長
	日本財団理事長
	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会理事長
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部長
	鳥取県商工会議所連合会会長
	鳥取県教育委員会教育長
	鳥取県福祉保健部長
監 事	鳥取県立鳥取聾学校事務長
	鳥取県会計管理者会計局会計指導課長

別表2

企画推進会議委員（第12条関係）

役 職	所 属 ・ 役 職 名
委 員	国立大学法人筑波技術大学（学長が指名した者）
	一般財団法人全日本ろうあ連盟 青年部長
	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会（福祉・労働委員会委員長）
	鳥取県手話通訳士協会（会長が指名した者）
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部（支部長が指名した者）
	鳥取県手話サークル連絡協議会（会長が指名した者）
	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 常務理事
	鳥取県教育委員会 教育次長
	鳥取県高等学校長協会 会長
	鳥取県私立中学高等学校長会 会長
	鳥取県立鳥取聾学校長

資料2

人事異動等に伴い、以下の4名の方を平成29年4月1日付け又は同年6月22日付けで新しく企画推進会議の委員（以下「委員」という。）に委嘱しました。

- ・ 社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 野間田 憲昭 常務理事
 - ・ 鳥取県高等学校長協会 山根 孝正 会長
 - ・ 鳥取県私立中学高等学校長会 佐伯 友茂 会長
- （なお、資料1のとおり県福祉保健部ささえあい福祉局長の宮本が新しく委員長に就任。）

なお、任期満了に伴い、上記以外の皆様も同年4月1日付けで改めて委員に委嘱しました。

今年度も全国高校生手話パフォーマンス甲子園の実施に向け、御支援の程、何卒よろしくお願い致します。

手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議委員名簿

役 職	所属 ・ 役職名	氏名（敬称略）	委嘱日
委員長	鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局長	宮本 則明	（平成29年6月20日）
委 員	国立大学法人筑波技術大学 教授	大杉 豊	平成29年4月1日
	一般財団法人全日本ろうあ連盟 青年部長	廣田 喜春	平成29年4月1日
	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 事務局次長兼福祉・労働委員会委員長	戸羽 伸一	平成29年4月1日
	鳥取県手話通訳士協会	森原 早百合	平成29年4月1日
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部	国広 生久代	平成29年4月1日
	鳥取県手話サークル連絡協議会	田中 優子	平成29年4月1日
	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 常務理事	野間田 憲昭	平成29年6月22日
	鳥取県教育委員会 教育次長	寺谷 英則	平成29年4月1日
	鳥取県高等学校長協会 会長	山根 孝正	平成29年4月1日
	鳥取県私立中学高等学校長会 会長	佐伯 友茂	平成29年4月1日
鳥取県立鳥取聾学校 校長	三王寺 孝子	平成29年4月1日	

第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園参加チームの申込み状況について

1 参加申込み期間

平成29年5月15日（月）から7月3日（月）まで

2 参加申込みチームについて

6月22日（木）現在 10チーム（参加申込校は以下のとおり（申込み順）。）

高校名	都道府県名	新規	昨年の状況	備考
鳥取城北高等学校	鳥取県	－	本大会	
掛川工業高等学校	静岡県	－	予選	
田鶴浜高等学校	石川県	－	本大会	
岡崎東高等学校	愛知県	－	本大会	
境港総合技術高等学校	鳥取県	－	本大会	
鳴門高等学校	徳島県	－	－	第1回大会に参加 （3年ぶり）
聖心学園中等教育学校	奈良県	－	本大会	
嬉野高等学校	佐賀県	－	予選	
桜花学園高等学校A・B	愛知県	－	予選	2チーム申込み

[現時点（申込み期限約10日前）で10チームの参加申込みとなっている原因等]

- ・早期に参加申込みする必要性は、高校側にはさほどなく、例年、参加申込みは期限直前に集中する傾向がある。（後述のとおり。）
- ・今回、第4回大会の開催日の決定が4月28日と大変遅い時期となったこと（第3回大会の開催日の決定は2月15日）、全国の高等学校へのチラシ等の送付はさらに遅れ、参加申込み開始後の5月中旬の発送となったこと（昨年は、4月上旬にチラシ等を発送した）、その他、第4回大会の全般の広報が遅れてしまうこととなったことから、高校側の参加の検討及び準備等に時間を要し、参加申込みも遅れ気味になっているものと考えられる。
- ・また、今年は参加申込みの際に、参加者名簿及びチーム写真の提出を求めていることから（昨年は、参加申込書の提出のみでよく、参加者名簿及びチーム写真は後日の提出としていた）、チームメンバーの選考やチーム写真の撮影等に時間を要していることも、要因の1つとして考えられる。
- ・第4回大会の開催日決定が遅れるという不利な状況を抱えてはいるが、その後、積極的な広報を展開していることもあり、来週以降、多くの参加申込みを期待したいところ。（なお、前回大会参加校を中心に、多くの問合せはいただいている。）

3 昨年の参加申込みについて

(1) 参加申込み期間：平成29年5月11日（月）から7月1日（金）まで

(2) 参加申込みチーム数：61チーム（65校）

(3) 申込みの実績・傾向

ア 参加申込み期限日までの残り10日間で、全体の約67%（41チーム）の申込みがあった。

イ 第2回大会以前も同様の申込み状況であり、例年、期限直前に申込みが集中する傾向がある。



第4回

全国高校生

手話パフォーマンス甲子園

実施計画書



手話パフォーマンス甲子園実行委員会

(鳥取県)



1. 目的

ろう者と聞こえる人が互いを理解し共生することができる社会を築く「鳥取県手話言語条例」の理念を実現すべく、全国の高校生が手話を使った様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話の魅力や手話が優れた意思及び情報伝達手段であることを実感してもらうとともに、手話とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的に、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」を“手話の聖地”鳥取県で開催する。

2. 日時・場所

日時：平成29年10月1日（日）9時15分～17時

場所：とりぎん文化会館 梨花ホール（鳥取県鳥取市尚徳町101番地5）

（収容人数：最大2,000席（うち車椅子席10席））

【交流会】

日時：平成29年9月30日（土）18時10分～20時

場所：ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間（鳥取県鳥取市今町2丁目153番地）

※ 大会関係者（出場チーム、司会・審査員・ゲスト、来賓等）一同が参加する立食パーティー。
（参加予定人数：約300人）

3. 出場チーム

予選審査を通過した全国の高校生による全20チーム

○申込み期間：5月15日(月)～7月3日(月)

○予選審査会：8月2日(水)～3日(木) 鳥取県庁で開催

※ 動画視聴による審査(ビデオ審査)を実施します。

※ 8月3日に予選審査結果の発表を行います。(ライブ中継あり)



4. スケジュール

2月17日(金) 本大会の開催決定

4月28日(金) 本大会の開催日及び開催要項公表

5月15日(月) 参加申込み受付開始

7月 3日(月) 参加申込み締切

7月20日(木) 予選審査動画の提出締切

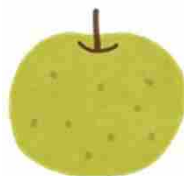
8月 2日(水) 予選審査会

8月 3日(木) 予選審査会（結果発表、本大会演技順番、選手宣誓チーム決定）

9月30日(土) リハーサル（本大会と同会場）

交流会（ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間）

10月 1日(日) 本大会（とりぎん文化会館 梨花ホール）



5. 演技内容

手話を使った歌唱、ダンス、演劇、ポエム、コント、落語、漫才などのパフォーマンスで、表情も含め手話を正確に使いながら、伝えようとする意志をしっかりと持ち、工夫された演出や構成と豊かな表現力により演じられるもの。(演技時間は6分以上8分以内)

歌唱



演劇



ダンス



コント



6. 表彰

- ① 優勝 (賞状、優勝旗、メダル、副賞を授与する。)
- ② 準優勝 (賞状、準優勝楯、メダル、副賞を授与する。)
- ③ 3 位 (賞状、メダル、副賞を授与する。)
- ④ 審査員特別賞 (賞状、副賞を授与する。)
- ⑤ 全日本ろうあ連盟賞
- ⑥ 日本財団賞
- ⑦ 鳥取県聴覚障害者協会賞

右の受賞チーム以外の本大会出場チーム全てに“梨華賞”を授与する。



優勝旗 (上)
表彰状 (下)



鳥取砂丘の砂を使用した表彰メダル



7. 出演者

【演技司会（2名）】



はやせ けんたろう
早瀬 憲太郎 氏 【継続】

学習塾「早瀬道場」塾長 ろう者
学習塾「早瀬道場」を設立し、塾長としてろう児の国語指導等を行っている。
映画「ゆずり葉」の脚本・監督。
2015年3月まで、NHK Eテレ「みんなの手話」の講師として、長年にわたり出演してきた。
過去、全ての大会で演技司会を担当。



みき ちさき
三城 千咲 氏 【新規】

モデル・手話パフォーマー 聞こえる人 1989年生まれ 宮崎県出身
昨年、スーパーGTのGT500チャンピオンに輝いたLEXUS TEAM SARDのレースクイーンを務め、一年で最も活躍したレースクイーンを表彰する「レースクイーン・オブ・ザ・イヤー 15-16」に選ばれた。
また、かねてより勉強していた手話を生かし、“THE SxPLAY” が歌うパラリンアート公式ソング「未完成キャンパス」のミュージックビデオに手話パフォーマーとして出演を果たした。
そして日本初の全日本ろうあ連盟公認“第23回夏季デフリンピック競技大会サムスン2017” 応援テーマソングに「HANDSIGN with 三城千咲」として歌う「HERO」に決定し、今後も意欲的に手話パフォーマーとして活動する。

【総合司会（1名）】

NHK鳥取放送局所属 アナウンサー（予定）

※ 現在、同局に所属アナウンサーの推薦依頼中。なお、過去の大会では、同局所属の大木 浩司アナウンサーが総合司会を担当。

【審査員（6名）】

【審査員長】



しょうざき たかし
庄崎 隆志 氏 【継続】

演出家・俳優 ろう者
19歳でプロ劇団デフ・パペットシアター・ひとみの旗揚げに参加。その後、代表・演出となる。
松山善三演出の『赤い椿の物語』出演。
『オルフェ』、『曾根崎心中』『遠野物語』主演など、俳優として表現方法を探求しながら演出・脚本も手掛ける。以来、全国各地780ヶ所で2000回以上、ヨーロッパ、アメリカ、アジア各地など海外14ヶ国で公演。
2005年、デフ・パペットシアターひとみ退団後も、公演プロデュース、そのかたわら大学などでワークショップの講師としても活動。
2009年、映画『ゆずり葉』（全日本ろうあ連盟製作）主演。
2010年、横浜文化賞・文化芸術奨励賞の受賞など、多くの受賞歴があり、ろう者の俳優の第一人者として活躍中。



いまむら あやこ
今村 彩子 氏 【新規】

映画監督 ろう者

名古屋出身 Studio AYA代表 豊橋聾学校高等部卒業 愛知教育大学教育学部卒業
大学在籍中にカリフォルニア州立大学ノースリッジ校に留学し、映画制作・アメリカ
手話を学ぶ。現在、名古屋学院大学・愛知学院大学で講師をする一方、ドキュメンタ
リー映画制作で国内だけにとどまらず、アメリカやカナダ、韓国、ミャンマーなど
海外にも取材に行く。主な作品である「珈琲とエンピツ」（2011）は、全国の劇場
で公開される。東日本大震災の被災した聞こえない人を2年4ヶ月間取材し、「架け
橋 きこえなかった3. 11」（2013）を制作。現在は、新作「Start Line（ス
タートライン）」が全国各地で公開中。



こなか えいち
小中 栄一 氏 【継続】

一般財団法人全日本ろうあ連盟 副理事長 ろう者

昭和29年(1954年)生まれ。7歳ごろに聴覚障害となる。

富山市在住。趣味は読書(マンガも含む)、字幕付きテレビ番組を楽しむ。

[現役職]

一般財団法人全日本ろうあ連盟 副理事長・機関紙部長

(文化部長、労働対策部長、手話通訳対策部長、事務局長を経て現在は副理事長)

NPO法人ろう教育を考える全国協議会 理事

社会福祉法人富山県聴覚障害者協会 理事

富山県聴覚障害者センター 施設長

富山市聾唖福祉協会 会長



かど ひでひこ
門 英彦 氏 【継続】

絵かき 聞こえる人

ろうの両親を持つ聞こえる人。

両親との手話コミュニケーションの補足として絵を描き始める。

個展や国内外の学校、野外音楽フェス等でのライブペインティング、ワークショップ、
講演の他、アニメーション作品の制作、ミュージシャンのアートワークを手掛けるな
ど、創作は多岐に渡る。ことばで会話することだけがコミュニケーションではないと
いう思いから、「HAND TALK」という言葉を生み出しコミュニケーションの大切
さを伝えている。

門秀彦HP：<http://www.kado4life.jp>

Giraffant facebook：<https://www.facebook.com/giraffant.room/>



なかの さよこ
中野 佐世子 氏 【新規】

手話ニュースキャスター・手話通訳士 聞こえる人

高校生の時に手話と出会い、大学入学後に本格的に手話を始める。専攻は幼児教育
(障害児保育)。1990年 NHK Eテレ「手話ニュース」のキャスターとして出演(現
在に至る)。

バリアフリー啓発研修講師として全国各地の人権講演会を回るほか、企業や官庁の研
修講師も務めている。

著書「ハッピーコミュニケーションのすすめ」。障害者や高齢者など多様な個性を持
つ人達を理解し共に笑顔で生きていくために、私達がどの様に意識し行動すればよい
のかを、様々な具体例を挙げながらまとめた。

共著「手話ソングブック1. 2. 3」、「手話ゲームブック」



たかはし ちえ
高橋 千枝 氏 【新規】

鳥取大学地域学部准教授・臨床発達心理士 聞こえる人

乳幼児健診の心理判定員、短期大学の教員等を経て現職。専門は発達心理学、とりわ
け幼児期の社会性の発達や仲間関係の発達に興味があり、幼稚園や保育所等で子ども
達の観察や実験を通して研究をしている。

また、特別な支援を必要とする子どもに関する研究や発達の支援、さらには特別な支
援を必要とする子どもの保護者や保育者への支援等にも携わっている。

【ゲストパフォーマー（本大会）】



Soullmpression × SoulOBOG

聴覚障がい者のための高等教育機関として知られる国立
大学法人筑波技術大学産業技術学部のダンスサークル。
代表竹田凧沙さんから、

『Soullmpressionとは、筑波技術大学にある全国で1つ
しかないろう学生だけのダンスサークル。ちょうど今年
で15周年を迎えました！

当日はSoul Impression現役と卒業生のOBさんがチーム
を組んで発表！

Locki`nに花を咲かせてくれたOB2人の高い経験値と
技術をダンスから感じ取ってください！もちろん、始め
たてピカピカ現役も負けじとファイトしちゃいます！バ
リバリ現役のパワフルなBreaki`nとPoppi`nのコラボ
チームにも注目です！！』

というメッセージを頂いています。

【ゲストパフォーマー（交流会）】



大阪パントマイムグループ

1978年9月1日、数名の聴覚障がい者によって大阪パントマイ
ムグループ（O.P.G）は、結成された。きっかけは、現在、プ
ロパントマイミストとして活躍中の北 京一（きた きょうい
ち）氏よりパントマイムの指導を受けていたメンバーが聴覚障
がい者の芸術文化の向上を目指したこと。そして、その第一歩
を踏み出した。

その後、定期公演を初め、イベント・アトラクションなど、
様々な場所で演じる機会を持つようになった。

現在、聴覚障がい者・聞こえる人が持つそれぞれの感性と個性
が溶け合ったO.P.Gの独自のマイムを目指している。今でも創
立時の信念「マイムを通じての出会いと笑顔を大切にしてい
きたい」という気持ちを持って、練習を続けている。

ここ数年は、スペイン渡欧をはじめ、チェコ、ロシア、イギリ
ス、韓国、イタリア、オーストラリア、ドイツ、香港、アメリ
カ、タイ、ベトナム、トルコ、スリランカ、カンボジア、フィ
リピン、ケニア、マレーシア、インド、インドネシア、中国公
演と国際交流の場が広がり、且つ、活動の規模は大きくなって
きている。（結成からこれまでに、世界を含め533回の公演を
実施。）

【その他】

地元鳥取県出身の芸能人の出演も今後、検討する。

- ⇒ 高校生と年の近い若い芸能人を想定。
- ⇒ 高校生への（演技時以外の）インタビューや表彰等を担当する
”特別サポーター” ”特別ナビゲーター” といった役割を想定。



8. 交流会

○日 時：平成29年9月30日(土) 18:10～20:00

○場 所：ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間（鳥取県鳥取市今町2丁目153番地）

○出席者：約300人

〔内訳(予定)〕

来賓等 20名（全日本ろうあ連盟・日本財団・国会議員等）

出演者① 250名（出場チーム（高校生・引率者）、高校生ボランティア）

出演者② 15名（司会・審査員・ゲスト等）

主催者等 15名（鳥取県・鳥取県聴覚障害者協会・実行委員会委員 等）

【日程】

時間	項目	内容
18:10	司会あいさつ	司会者
18:13	主催者あいさつ	鳥取県知事(予定)
18:19	乾杯	鳥取県議会議長(予定)
18:22	歓談	(出席者間で交流を深める)
18:48	出場チームの抱負	各出場チームごとに、大会への意気込みを発表
19:10	歓談	(出席者間で交流を深める)
19:20	ゲストパフォーマンス	大阪パントマイムグループ
19:40	歓談	(出席者間で交流を深める)
19:50	出場チームへのエール①	
19:53	出場チームへのエール②	
19:56	閉会あいさつ	主催者
20:00	閉会	

<会場（ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間）>



<昨年の交流会の様子>



9. 本大会



○日 時：平成29年10月1日(日) 9:15~17:00

○場 所：とりぎん文化会館梨花ホール（鳥取県鳥取市尚徳町101番地5）
※ 収容人数2,000人

【日程】

時間	項目	内容
9:15~9:55	開会式	<ul style="list-style-type: none">・開会・主催者あいさつ（鳥取県知事）・来賓あいさつ 全日本ろうあ連盟 日本財団・優勝旗返還（熊本聾学校）・選手宣誓（抽選で選ばれた本大会出場チーム）・出場チーム紹介・審査方法の説明・審査員の紹介・演技司会者の紹介
9:55~12:15	チーム演技①	前半10チームの演技 ※ 途中、10分程度の小休憩を挟む。
12:15~13:15	（昼休憩）	
13:15~15:15	チーム演技②	後半10チームの演技
15:15~15:30	（休憩）	
15:30~16:05	ゲストパフォーマンス	<ul style="list-style-type: none">・筑波技術大学 ダンスサークル 『SoulImpression×SoulOBOG』・大会テーマソング プロモーション映像
16:05~17:00	表彰式	<ul style="list-style-type: none">・表彰 優勝、準優勝、第3位、審査員特別賞、 全日本ろうあ連盟賞、日本財団賞、 鳥取県聴覚障害者協会賞・審査員長講評・閉会あいさつ（鳥取県聴覚障害者協会）

【会場】 <とりぎん文化会館 梨花ホール>



【大会の観覧】

項目	内容
観覧方法	観覧自由（事前申込み不要）
入場料	無料
一般入場席	約1,400席 ⇒ 昨年は約900席。昨年を大きく上回る座席を用意し、来場者に備えることとする。
サテライト会場	多くの入場希望者が来場し、会場に入場できない状況も想定して、とりぎん文化会館内にサテライト会場を用意する。 ○場所：小ホール（2階。本大会会場（梨花ホール）横） ○席数：約400席（立ち見スペースも用意） ○設備：大型スクリーン（縦3～4m×横5～6m程度）、音響 ⇒ 会場内はある程度の明度も確保し、観客の容易な動線にも配慮する。
ライブ配信	当日来場できない方を含め、より多くの方に大会を観覧いただけるよう、インターネット（手話パフォーマンス甲子園☆動画チャンネル）上でライブ中継を行う。なお、CD音源を使用する場合、著作権について所有者の許諾が得られない場合は、音声を配信しない。 ⇒ このため、なるべくCD音源を使用しないよう高校へ推奨している。

【催し等】

項目	内容
あい・サポートマルシェ (正面入口前・1階フリースペース)	障がい福祉サービス事業所等による販売コーナー (飲食物(軽食)、事業所作品、特産品等の販売)
手話カフェ(1階展示室)	米子市の手話カフェSignによるミニカフェコーナー
鳥取聾学校写真展(1階展示室)	鳥取聾学校写真部の作品展示コーナー
グッズ販売コーナー (1階フリースペース)	大会公式グッズの販売コーナー 鳥取県聴覚障害者協会の販売コーナー
手話パフォーマンス甲子園 紹介コーナー (1階・2階会場入口前)	大会概要や過去の大会の様子を伝えるパネルの展示、 過去の映像を紹介する映像コーナーの設置
その他の催し等	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取県郷土芸能披露(1階フリースペース) Clara氏(鳥取市在住デザイナー)ワークショップ(1階展示室) 記念撮影コーナー、お土産コーナー(1階フリースペース) 協賛企業PRコーナー(1階フリースペース)

<マルシェ(前回)>



<写真展(前回)>



<PRコーナー(前回)>



10. 運営体制

実行委員会企画推進会議

大会実施計画、その他大会の実施に係る事項の決定、大会運営への助言・指導等
情報保障コーディネーターチームによる情報保障のさらなる充実化

鳥取県

障がい福祉課、事務局

鳥取県聴覚障害者協会

本部、各センター

大会運営委託業者

新日本海新聞社
日本海テレビ
M&M.CO

大会運営体制

運営体制図の詳細は、P.12の体制図にて

11. 大会テーマソング

【手話とダンスを融合したパフォーマンス】

HANDSIGN 「僕が君の耳になる」

- ⇒ ろうの女性と聞こえる男性の恋愛の実話を基にしたラブソング。同曲のPVのYouTubeの視聴は、100万回を超えている。
- ⇒ 大会のプロモーション等で活用するとともに、ろう者と聞こえる男女の交流を描いたPVを大会中に放映する。（調整中）



12. 主催者等

○主 催 手話パフォーマンス甲子園実行委員会
（鳥取県・鳥取県教育委員会・全日本ろうあ連盟・日本財団
鳥取県聴覚障害者協会・全国手話通訳問題研究会鳥取支部・鳥取県商工会議所連合会）

○共 催 鳥取県・公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

○特別協力 全日本ろうあ連盟

○特別協賛 Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

○後 援 （予定） 内閣府、厚生労働省、文部科学省、鳥取市、手話を広める知事の会、
全国手話言語市区長会、一般社団法人全国手話通訳問題研究会、
一般社団法人日本手話通訳士協会、全国聾学校長会、全国高等学校文化連盟、
朝日新聞厚生文化事業団、NHK厚生文化事業団、社会福祉法人全国社会福祉協議会、
全国難聴児を持つ親の会、日本演劇教育連盟、日本障害フォーラム、朝日新聞社、
毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、産経新聞社、日本経済新聞社鳥取支局、
新日本海新聞社、山陰中央新報社、中国新聞鳥取支局、共同通信社鳥取支局、
時事通信社鳥取支局、NHK鳥取放送局、BSS山陰放送、日本海テレビ、
TSK山陰中央テレビ、テレビ朝日鳥取支局、鳥取県ケーブルテレビ協議会、
エフエム山陰、FM鳥取、DARAZ FM



本ページ以降は、企画運営委託業者による実施計画書



全国高校生 手話パフォーマンス甲子園

第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園企画運営業務

実施計画書

H29. 6. 23

【手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議(第1回)】

 新日本海新聞社

 日本海テレビ

m&m.co

共同企業体

●組織図



●運営体制図(「○数字」は、本部系統のインカムライン)



舞台監督 中城 貞夫

高知よさこい前夜祭で、10年以上舞台監督を務めており、手話パフォーマンス甲子園も第1～3回大会の舞台監督を担当しています。

多くの高校生がろう者と触れ合う機会を作るため、第4回大会ではさらに高校生ボランティアの数を増やすとともに、大会運営に携わることができたという達成感を実感できる機会づくりを行います。

◎第3回 高校生ボランティア数 6名

■役割

- 出演者班 出場校管理4名 出場校をステージや座席へ連れていくスタッフ
- 出演者班 リハ室管理1名 リハーサル室の管理、アテンド
- 出演者班 荷物管理 1名 出場校の預け入れ荷物の受付・管理

◎第4回 高校生ボランティア数 30名

■役割

出演者班	出場チーム管理	20名	出場チームの動きの管理 座席、直前の準備、ステージへのアテンド 昼食へほか、出場チームのサポート
出演者班	リハーサル室管理	4名	リハーサル室の管理、アテンド
総合案内班	ハートフル係	6名	ハートフル席の受付、アテンドなど

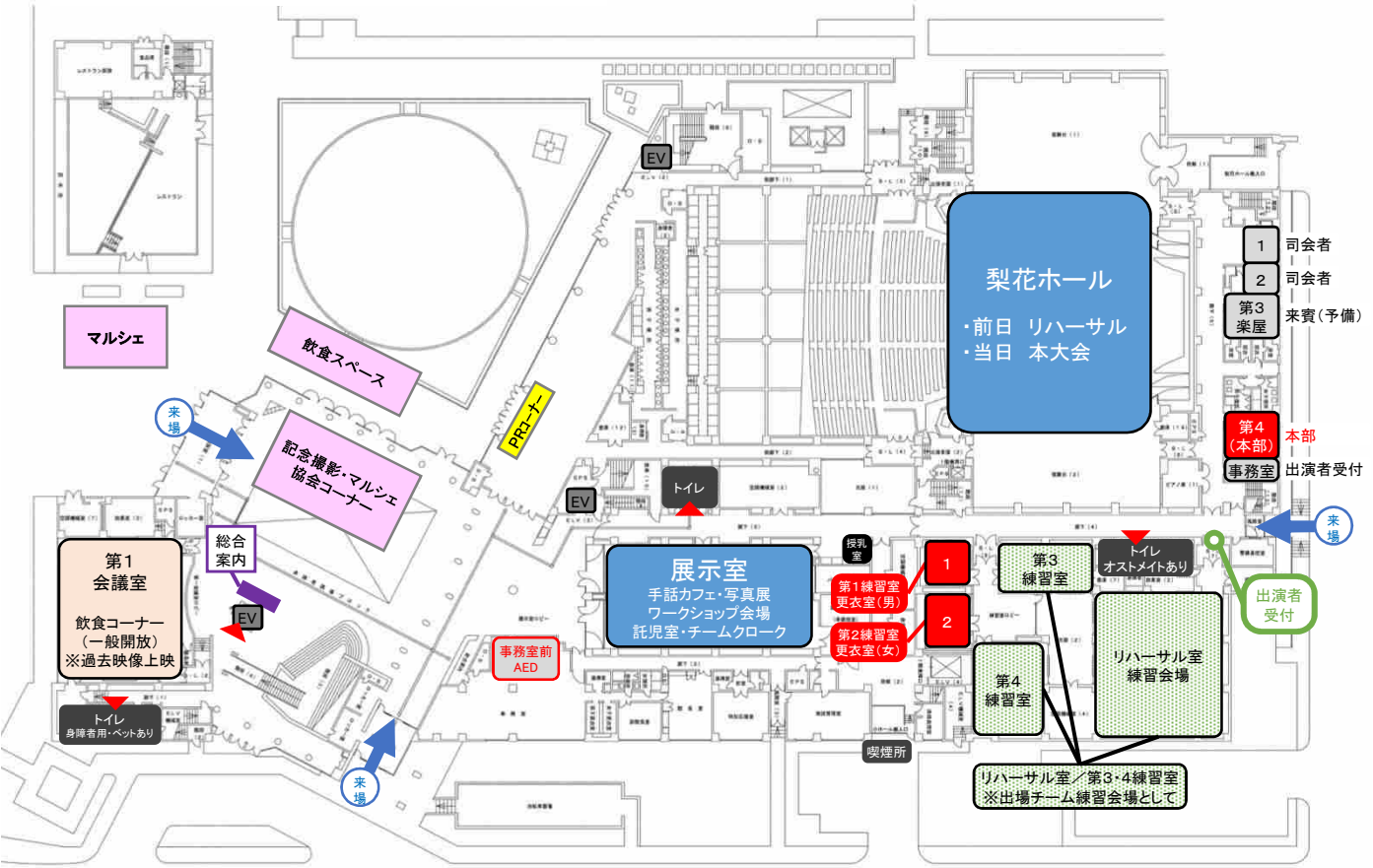
募集方法

まずは、鳥取県教育委員会へボランティアの募集を打診することとする
(募集状況に応じて、鳥取県社会福祉協議会にも協力を要請する)

スケジュール

- 6月下旬 検討委員会で内容 協議
- 7月1日～7月20日 募集/打診
- 9月中旬 ボランティア説明会
- 10月1日 本番

●とりぎん文化会館(1階)

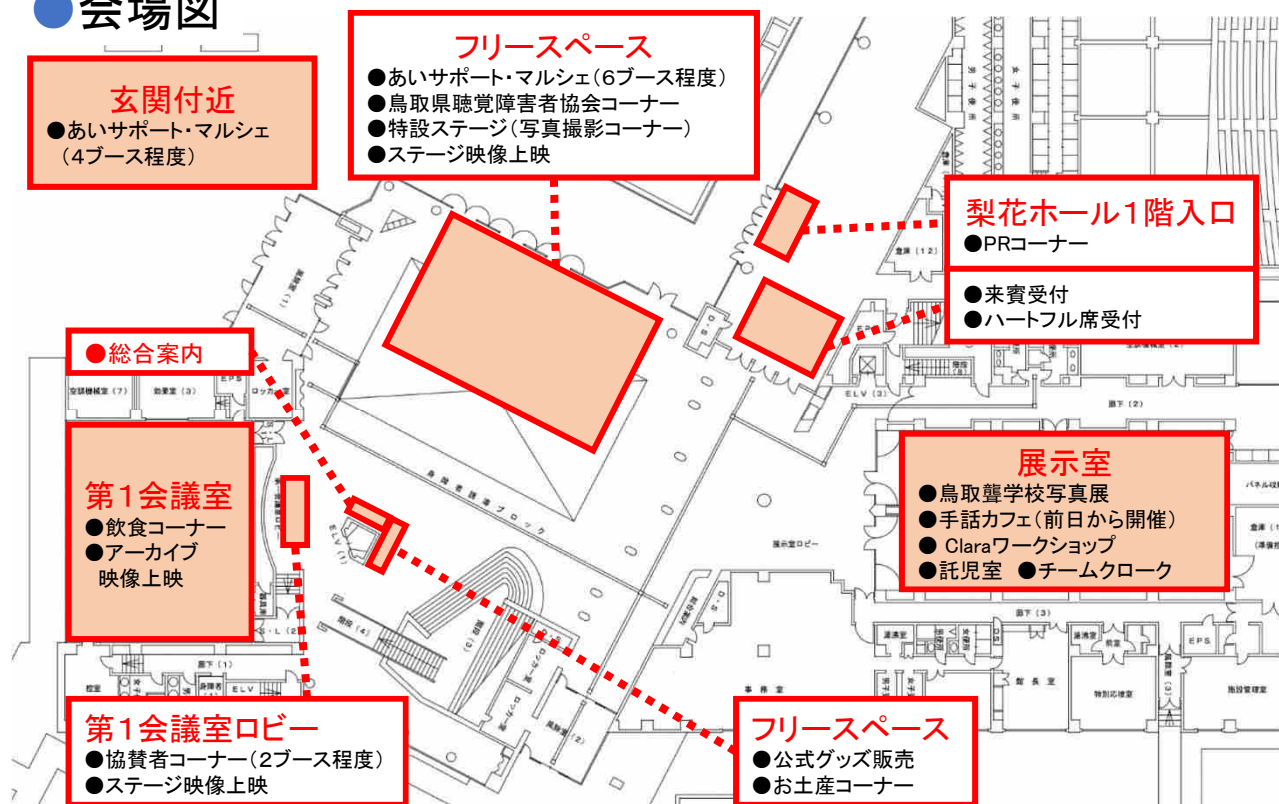


※悪天候時、マルシェ(会場外)はフリースペースにて開催 / ※第3楽屋: パソコン設置(ライブ配信視聴可能)

●とりぎん文化会館(2階)



●会場図



ステージ以外の会場イベントをフリースペース近辺に集約し、来場者が周回しやすい配置展開をしています。また、玄関付近にあいサポート・マルシェを開催し、来場者をもてなします。

●会場イベント一覧

会場イベント内容	場所	時間	内容
サテライト会場	小ホール	9:00-17:00	臨場感あるステージイベントの様子を投影
ウェルカムステージ	フリースペース 特設ステージ	①08:30~09:00 ②12:15~12:45	鳥取の郷土芸能ステージで、全国からの来場者のおもてなしをします
記念撮影コーナー	フリースペース 特設ステージ前	上記ステージ以外	来場者・出場チームの記念撮影として、SNSへの拡散を図ります
あいサポート・マルシェ	フリースペース & 玄関付近	11:00-15:00	障がい福祉サービス事業所などによる飲食販売コーナー
お土産コーナー	フリースペース	9:00-17:30	鳥取のお土産を販売します
鳥取県聴覚障害者協会コーナー	フリースペース	9:00-17:00	グッズ販売コーナー
手話パフォ甲子園公式グッズ販売	フリースペース	9:00-17:00	グッズ販売コーナー
協賛企業PRコーナー	フリースペース	9:00-17:00	協賛企業のPRコーナー
手話パフォ甲子園PRコーナー	フリースペース	9:00-17:00	過去大会がパネル・映像で紹介します
鳥取聾学校写真展	展示室	9月30日・10月1日 10:00-17:00	鳥取聾学校写真部による写真展
手話カフェ	展示室	9月30日・10月1日 10:00-17:00	手話カフェsignの出張カフェコーナー
Claraの 「みんなで笑顔の花を咲かせよう！」	展示室	10:00-17:00	手話パフォキャラクターのイラストレーター Claraによるお絵かきワークショップ

◎合計1,782席
(一般席1,252席)

●1階席 1,142席

・一般席904席、ハートフル席100席(車いす・盲ろう者席含む)、
審査員席12席、来賓席84席、報道席42席
※ハートフル席(中央):車いす・盲ろう者席を用意して随時対応

●2階席 292席

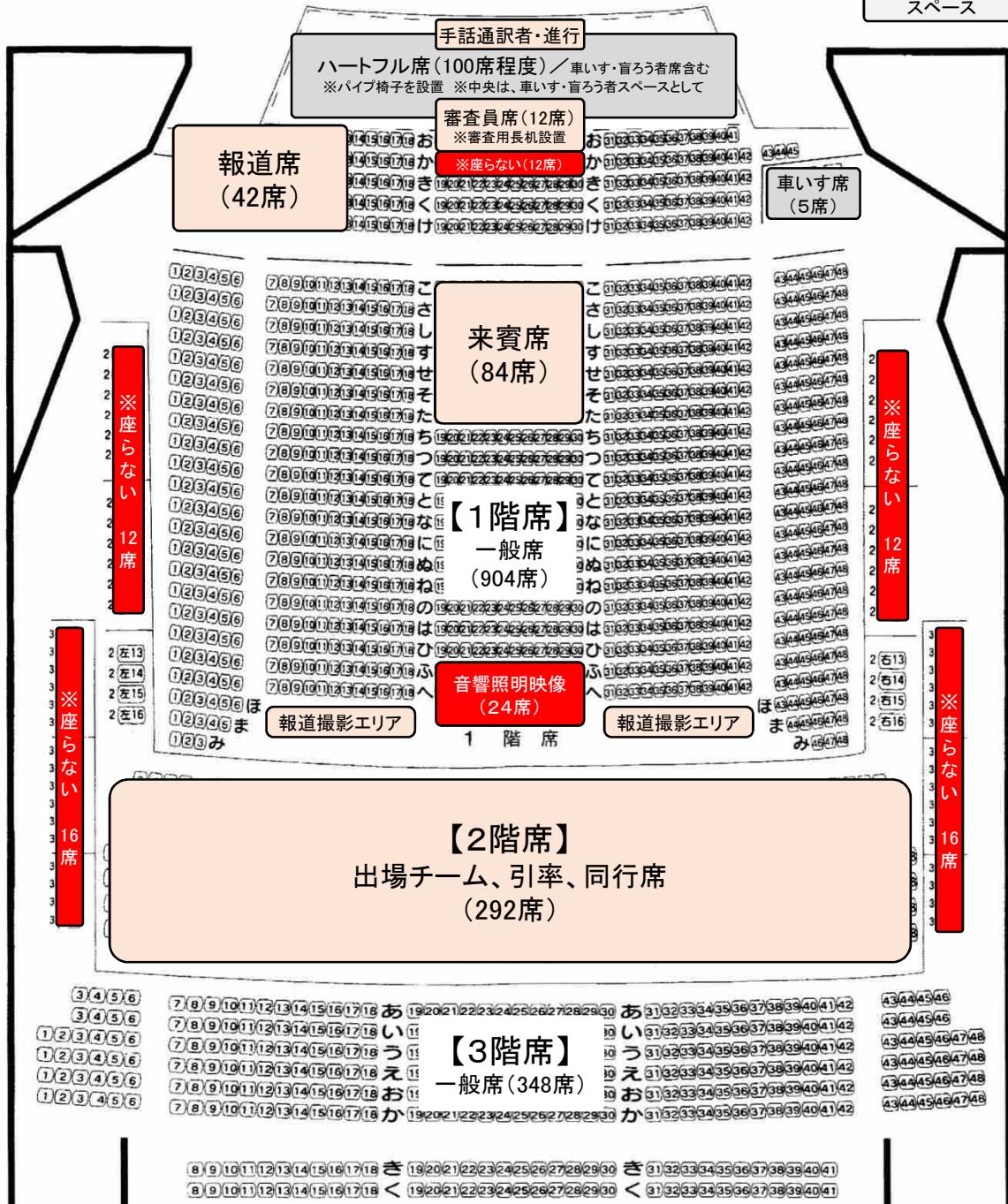
・出場チーム、引率、同行者席292席

●3階席 348席

・一般席348席

(舞台上手)
出場チーム
待機スペース

(舞台上手)
要約筆記
スペース



<入場口について>

- 1階席 → (前方)ハートフル・来賓 / (後方)一般席
- 2階席 → 出場チーム
- 3階席 → 一般席

●モニター計画／運用について

■梨花ホール／ ■式典・インタビュー時 (300インチLEDモニター・120インチモニター＊2)

表示場所	表示内容
300インチ LEDモニター	①手話通訳 ②要約筆記 ③ライブ映像
120インチ サブモニター (上手)	ライブ映像
120インチ サブモニター (下手)	テロップ (演目名ほか)



■梨花ホール／ ■パフォーマンス時 (300インチLEDモニター・120インチモニター＊2)

表示場所	表示内容
300インチ LEDモニター	演出映像
120インチ サブモニター (上手)	ライブ映像
120インチ サブモニター (下手)	テロップ (出場チーム／演目名ほか)



■小ホール(サテライト会場) (スクリーン幕／プロジェクター投影) ※全て音声あり

■ライブ配信

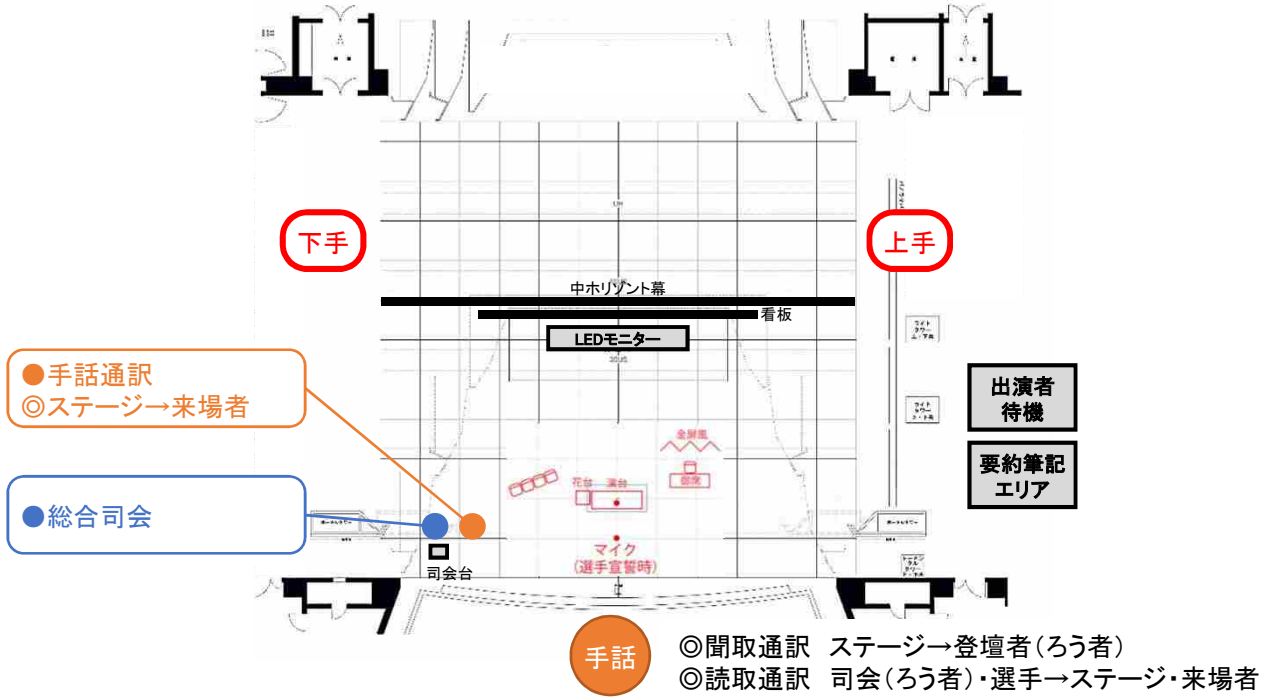
- ※著作権の関係で一部音声なし
- ※演目などをテロップ表記します。



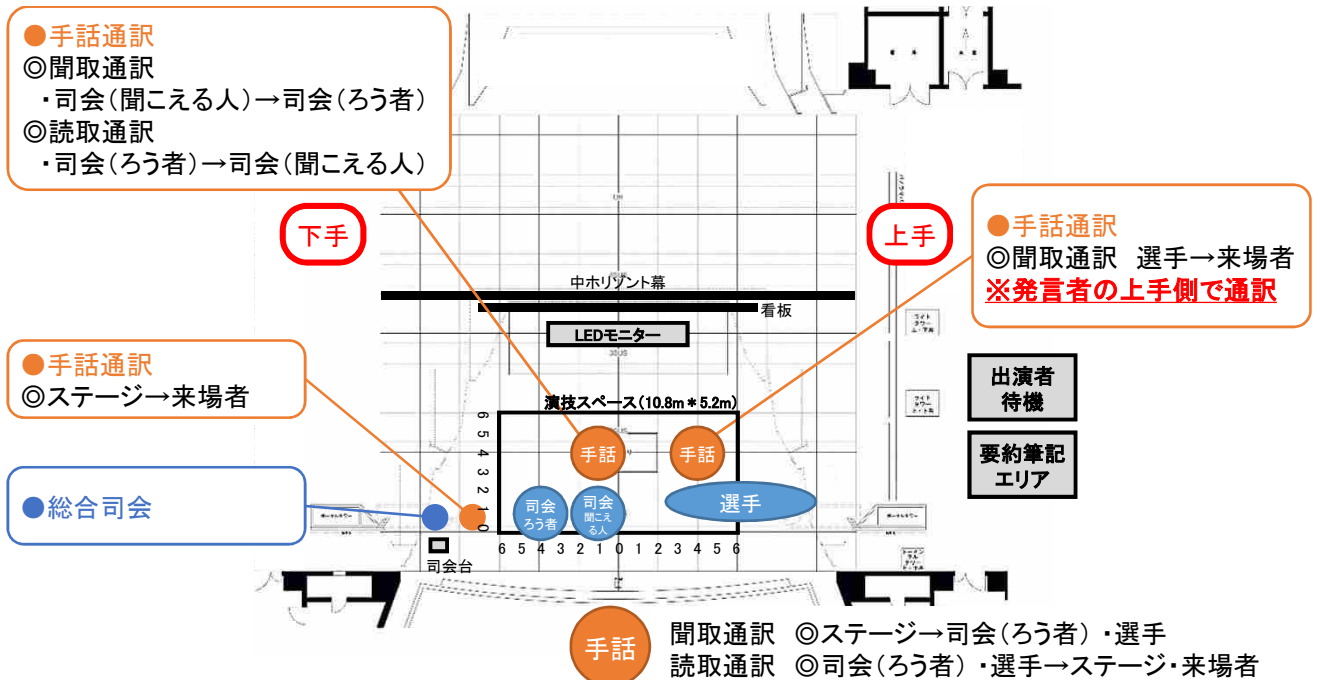
ステージ上、LEDモニターを含めた画角の映像を流します。

- フリースペース1 60インチ モニター ※全て音声あり (記念撮影コーナー付近)
- フリースペース2 30インチ モニター ※全て音声あり (第1会議室前)
- 展示室内 30インチ モニター ※全て音声あり

●手話通訳配置／式典時



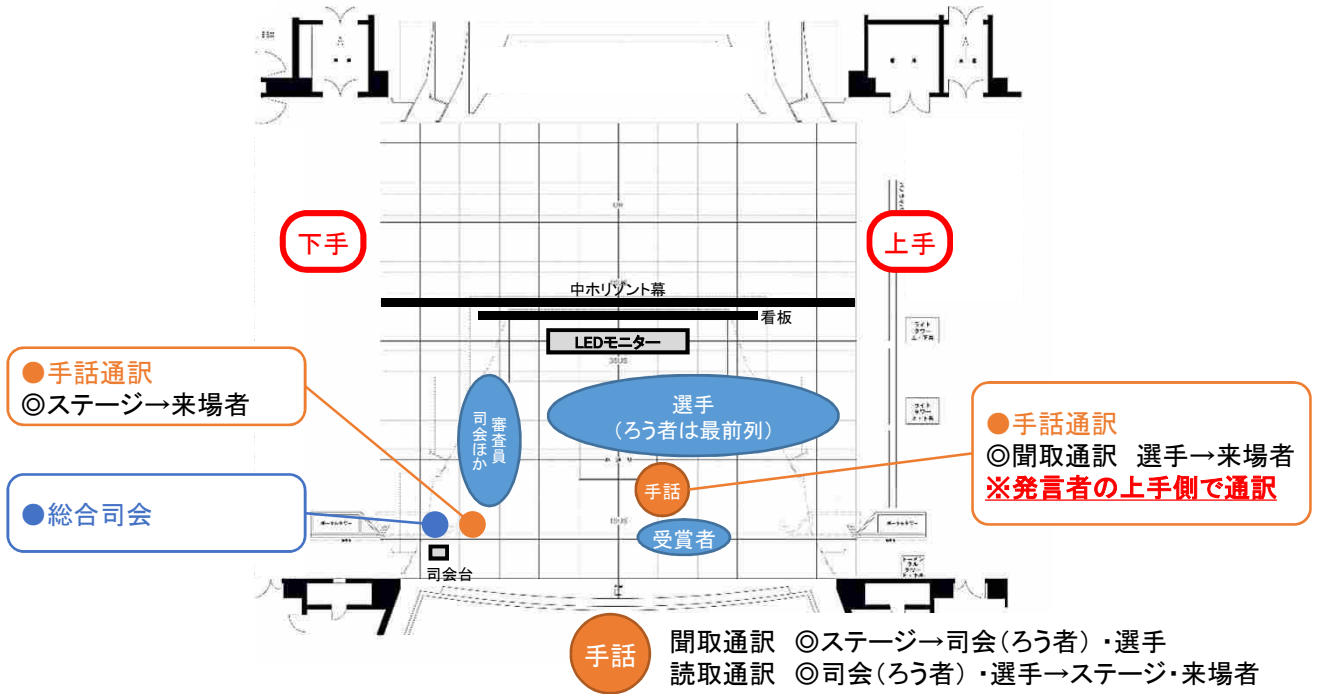
●手話通訳配置／パフォーマンス・インタビュー時



◎「読取通訳」 手話 → 日本語 / ◎「聞取通訳」 日本語 → 手話

※最終的な手話通訳・要約筆記エリアについては、鳥取県・鳥取県聴覚障害者協会と調整し実施します。

●表彰式時



●ポイント「情報保障コーディネーター」

企画推進会議内に情報保障コーディネーター(手話関係委員で構成)を設置して、全体的な視点で情報保障に不備がないかどうか監督していきます

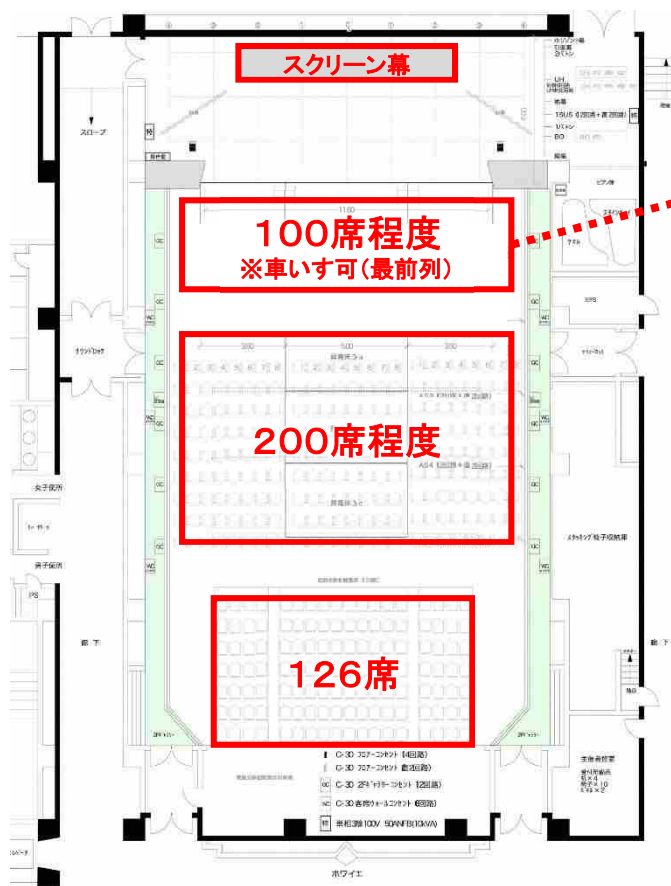
◎「読取通訳」 手話 → 日本語 / ◎「聞取通訳」 日本語 → 手話

※最終的な手話通訳・要約筆記エリアについては、鳥取県・鳥取県聴覚障害者協会と調整し実施します。

●サテライト会場／小ホール



梨花ホールのサテライト会場として、ステージの様子を手話通訳・要約筆記を含めプロジェクターでステージスクリーンで上映します。



プロジェクター仕様
Panasonic PT-DZ770

- ◎前方席
- 前日
出場チームの練習エリアとして使用
- 当日
車いすでの観覧できるスペースを確保します。

小ホールホワイエ

● 合計863台(内ハートフル52台、大型6台)

優先順	駐車場名	駐車区分				合計
		一般	大型	関係者	ハートフル	
1	とりぎん文化会館駐車場	319	1		32	352
2	鳥取県庁	180	5		20	205
3	鳥取県庁北側駐車場			70		70
4	鳥取市役所	100				100
5	片原駐車場	136				136
	合計	735	6	70	52	863

[駐車場優先順位] 1とりぎん→2鳥取県庁→3鳥取県庁北側駐車場→4鳥取市役所→5片原駐車場
 ※満車の場合、周辺駐車場(本通りパーキング・NPCほか)の地図を配布し、誘導します

■ 会場周辺駐車場



■ ハートフルについて

当日パス配布



【対象】

- ・障がいや高齢などで歩行が困難な方
- ・けがや出産前後で一時的に歩行が困難な方

- 1) 警備員が「ハートフル駐車場はご利用ですか?」と伺い該当した場合はパスを発行する。
- 2) 警備員指示し専用スペースへアテンド
- 3) 必要がある場合、駐車場から総合案内までアテンド



● 前日・送迎バス運行

- ・出場チーム・審査員などのスケジュールにあわせ、シャトルバスを運行します
 - 1 主要駅・空港(JR鳥取駅・鳥取空港)→とりぎん文化会館
 - 2 とりぎん文化会館→ホテルニューオータニ(交流会会場)
 - 3 ホテルニューオータニ→JR鳥取駅(宿泊先周辺)
 (「鳥取駅」「鳥取空港」「とりぎん文化会館」「ホテルニューオータニ」)

● 当日・バス運行 シャトルバス2便

- ①JR鳥取駅ーとりぎん文化会館
 - ②JR鳥取駅ーとりぎん文化会館ー鳥取空港
- ※その他、必要に応じタクシー利用にて円滑な送迎を行います

■(当日)シャトルバス時刻表

JR鳥取駅 ⇄ とりぎん文化会館
 始発便7:30(JR鳥取駅発) 最終便17:45(とりぎん文化会館発) ※30分おきに運行

◎大型2台運行／収容人数:26席

(車イス1台)(立乗り時56名)低床バス スロープ付き



◎以下、JR・空港便にあわせ、シャトルバスを運行

- JR [到着] **08:03** 08:32 **8:38** 8:44 10:12 11:04 11:57 12:53
 [出発] 12:54 14:00 14:54 16:21 16:54 **17:42 18:40 18:58**
- 空港[到着] **08:10 10:55 14:20** (17:40 20:45)
 [出発] (07:05 08:45) 11:40 14:55 **18:30**

JR鳥取駅 (出発)	→	とりぎん (到着)	
7:30	→	7:45	
8:00	→	8:15	
8:00	→	8:15	
8:30	→	8:45	
8:45	→	9:00	JR乗継(08:38着)
9:00	→	9:15	
9:00	→	9:15	
9:30	→	9:45	
10:00	→	10:15	
10:30	→	10:45	JR乗継(10:12着)
11:00	→	11:15	
11:15	→	11:30	JR乗継(11:04着)
11:30	→	11:45	
12:00	→	12:15	
12:15	→	12:30	JR乗継(11:57着)
12:30	→	12:45	
13:00	→	13:15	JR乗継(12:53着)
13:30	→	13:45	
14:00	→	14:15	
14:30	→	14:45	
15:00	→	15:15	
15:30	→	15:45	
16:00	→	16:15	

とりぎん (出発)	→	JR鳥取駅 (到着)	
			バス1
			バス1
			バス2
			バス1
			バス2
			バス1
			バス2
			バス1
			バス2
9:50	→	10:05	バス1
10:20	→	10:35	バス2
10:50	→	11:05	バス1
11:20	→	11:35	バス2
11:50	→	12:05	バス2
12:20	→	12:35	バス1
12:50	→	13:05	バス2
13:20	→	13:35	バス2
13:50	→	14:05	バス1
14:20	→	14:35	バス2
14:50	→	15:05	バス1
15:20	→	15:35	バス2
15:50	→	16:05	バス1
16:20	→	16:35	バス2
16:50	→	17:05	バス1
17:20	→	17:35	バス2
17:40	→	空港行き	空港乗継(18:30発)
17:50	→	18:05	バス1

※ 空港連絡バスは、県庁日赤前17:20発(鳥取空港17:35着)

※出場チーム・来賓優先バス 7:00/7:30 ・ 17:20/17:50

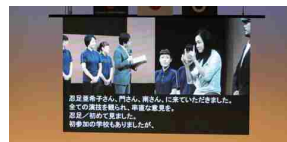
全国に誇る アクセシビリティな大会へ

ろう者をはじめ、障がいの有無に関わらず、あらゆる人が参加しやすい環境を作ります。

鳥取県の価値を高めます



障がい者種別	内容	内容
聴覚障がい	大型LEDスクリーン	ステージに大型スクリーンを設置し、①手話通訳 ②要約筆記 ③ライブ映像の3つの情報集約し、ひとつのスクリーンで全ての情報を得られるようにします。
	手話通訳	ステージに手話通訳スタッフを配置します。
	要約筆記	ステージスクリーンに要約筆記を表示します
	手話スタッフの配置	総合案内・ホール等に手話スタッフを配置します。
	情報ボードの掲示	総合案内・2階一般入口に情報ボードを掲示し、現在のステージの演技者情報、緊急時情報などを表示します。
視覚障がい	SPコード	チラシやプログラムにSPコードを配置します。
盲ろう	専門ボランティアの配置	鳥取県盲ろう者支援センターへ打診中。 前方のハートフル席に盲ろう者席を確保します。
肢体不自由	車椅子席の設置	前方のハートフル席を中心に車椅子席＋介添用席を設けています。
全体	上手・下手スクリーン	上手スクリーンに、ライブ映像を配信し、選手・登壇者の表情が見れるようにします。 下手スクリーンには、出場チーム名および演題を表示するなど、現在何が行われているかを誰もが分かりやすい文字情報の形で表示することとします。
	ハートフル席の設置	体の不自由な方や介添の方に、ゆとりのある席で見てもらうため、ハートフル席を設置。自己申告制で、優先的に席にご案内します。
	ハートフルスタッフ	サポートが必要な方には、ハートフルスタッフが付き添い、イベント期間中にサポートを行います。
	救護室の設置	重度の障がい者など、観覧中に、休憩したい方のために、横になれるベッドを備えた救護室を設置。専門のスタッフを配置しています。
	インターネット動画配信	会場に来ることができない方のために、インターネットでの動画配信を行います。
	無料シャトルバス	当日は、JR鳥取駅→とりぎん文化会館→鳥取空港を結ぶ無料シャトルバスを運行します。



+

運営スタッフのおもてなしの心

ケガ・急病

発見者

- 疾病者の症状の確認(意識・心拍・呼吸・出血等)
- 応急手当(現場で出来ること)
- 総合案内班へ連絡(総合案内)
- 救護係が到着するまで、付添

総合案内班

連絡 ↓ 連絡

総合案内班・救護係

傷病者の対応

- 看護師と現場に行き、応急手当
- 経過観察か救急車の出動か判断
- 軽度のケガの場合
応急手当・救護室で経過観察

本部

来場者の対応

- 現場に行き、状況確認・情報収集
保護者・学校・連絡先など
- 会館へ連絡
- 人除け、手話通訳などが必要な場合
協力要請

救急車の出動・要請が必要な場合

会館から通報
【119番】

総合案内班・救護係
付添搬送
【医療機関】

処置

* 状況が落ち着いてから、記録をまとめ、総合案内班統括へ連絡

連絡

本部

火災発生

発見者

- 火気の消化
(可能であれば初期消火)

本部

会館から通報
【119番】

全スタッフ

- ①火災状況の確認
- ②来場者がパニックにならないよう落ち着かせる

進行班

- 司会者・テロップで告知
「火災が発生しました。状況を確認していますので、落ち着いて指示をお待ちください。」
【ステージ・袖の出場チーム・出演者誘導】

会場班・ホール班・総合案内班

- 情報ボードで告知、落ち着かせる
- 各班の手話通訳スタッフを、高台に上げ、情報を伝達
【ホール・会場の来場者を誘導】

出演者班

- 学校単位で集め、人数確認
- 落ち着かせて、指示を待つ
【座席の出場チーム誘導】

駐車場班

- 避難場所の確保
- 緊急車両の進入路確保

本部(緊急対策本部)

【鳥取県・JV・会館 本部集合】

- 火災状況の確認
- 避難経路・避難場所の指示

本部から「各統括係」へ指示

地震発生

全スタッフ

- ①安全確保(頭を下げて、前に屈む)
「転倒・落下」の危険があるものから遠ざける
- ②来場者がパニックにならないよう落ち着かせる

進行班

- 司会者・テロップで告知
「地震が発生しました。
荷物などで頭を覆い、「転倒・落下」の危険があるものから遠ざかってください。
状況を確認していますので、落ち着いて指示をお待ちください。
【ステージ・袖の出場チーム・出演者誘導】

出演者班

- 学校単位で集め、人数確認
- 落ち着かせて、指示を待つ
【座席の出場チーム誘導】

会場班・ホール班・総合案内班

- 情報ボードで告知、落ち着かせる
- 各班の手話通訳スタッフを、高台に上げ、情報を伝達
- 救護係は、救急道具を持って本部へ
【ホール・会場の来場者を誘導】

駐車場班

- 避難場所の安全確認(4か所)
- 緊急車両の進入路確保

本部

- 最新の災害情報入手
(テレビ・ラジオ・インターネット)
- 被害状況をまとめる

各統括より【本部】へ状況報告

本部(緊急対策本部)

【鳥取県・JV・会館 本部集合】

- 被害状況の確認
- 避難経路・避難場所の指示

本部から「各統括係」へ指示

【避難場所】

- ①出場チーム【出演者班】
- ②聞こえる人【ホール班】
- ③ろう者【進行班】
- ④負傷者【総合案内班・会場班】の4つのエリアに分け、誘導

第4回 全国高校生
手話パフォーマンス甲子園

ご協賛のお願い

平成29年10月1日(日) 開催！
〔とりぎん文化会館 梨花ホール〕



手話パフォーマンス甲子園実行委員会



目次

- 1P . . . はじめに
- 2P . . . 手話パフォーマンス甲子園とは？
- 3P . . . 協賛の対象者・主な特典は？
- 4P . . . 協賛にご協力くださる方へ！
- 5P . . . 団体協賛者特典一覧
- 6P . . . 個人協賛者特典一覧
- 7P . . . 別添（団体協賛申込書）
- 8P . . . 別添（個人協賛申込書）
- 9P・10P . . . 別紙（協賛要綱）
- 11P・12P . . . 別紙（協賛要綱別表1～3）
- 13P・14P . . . 手話パフォーマンス甲子園の紹介



はじめに

鳥取県では、全国で初めて手話を言語と認める「鳥取県手話言語条例」を平成25年10月8日に制定しました。

そして、条例制定から1年後の平成26年、全国の高校生が鳥取県に集結し、手話を使った歌唱やダンス、演劇などのパフォーマンスを披露し、優勝を競い合う唯一無二の祭典『全国高校生手話パフォーマンス甲子園』を初めて開催しました。

お陰様で、その後、この大会を3回開催することができ、今では“手話の聖地”鳥取県を象徴するイベントに成長しつつあります。

今年も、皆様の熱い御期待を受けて、『第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園』を鳥取市にある「とりぎん文化会館」で開催することとなりました。

第4回大会となる今回も、全国各地の高等学校や特別支援学校等の高校生が“手話の聖地”を目指して練習に励み、そして、本大会への切符を勝ち取った20チームの精鋭たちが、本番で素晴らしい手話パフォーマンスを披露してくれることと思います。

そこには、障がいのあるなしにかかわらず生き生きと輝いている高校生たちの姿があり、共生社会のあり方や手話言語の可能性、素晴らしさを実感していただける場になると確信しています。

鳥取県では、「障がいを知り、共に生きる」を合言葉に、障がいのある方にちょっとした手助けをする「あいサポート」運動の精神が根付いています。若人たちの手話の取組をはじめ、障がいのある人とない人との交流、相互理解を進めていくことにより、「ささえあい」に満ちあふれた共生社会をこの鳥取県から実現していきませんか？

各企業、団体、県民、そして全国の皆様におかれましては、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」の趣旨を御理解くださり、是非とも格別の御支援・御協力を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

皆様からの多くの御協賛を心よりお待ち申し上げます。

平成29年4月 手話パフォーマンス甲子園実行委員会



【協賛についての問合せ、申込みについて】

手話パフォーマンス甲子園実行委員会事務局

(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局障がい福祉課社会参加推進室内)

電話 0857-26-7682

ファクシミリ 0857-26-8136

メールアドレス s-koushien@pref.tottori.lg.jp

手話パフォーマンス甲子園とは？

【目的】

ろう者と聞こえる人が互いを理解し共生することができる社会を築く「鳥取県手話言語条例」の理念を実現すべく、全国の高校生が手話を使った様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話の魅力や手話が優れた意思及び情報伝達手段であることを実感してもらおうとともに、手話とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的に、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」を“手話の聖地”鳥取県で開催する。

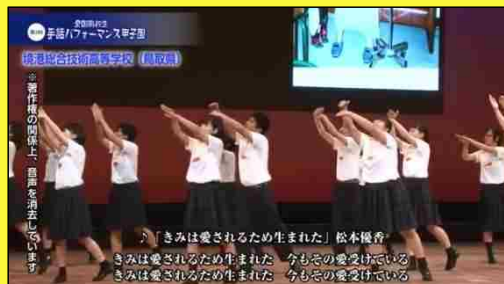
【日程】 平成29年10月 1日(日)

【会場】 とりぎん文化会館 梨花ホール
(鳥取県鳥取市尚徳町101番地5)

【参加資格】 高等学校、特別支援学校高等部等に在籍する生徒

【内容】 手話を使った歌唱、ダンス、演劇、ポエム、コント、落語、漫才などで競う。

【主催】 手話パフォーマンス甲子園実行委員会
(鳥取県、公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会の共催)



協賛の対象者・主な特典は？

【対象者】 大会の趣旨に賛同する企業・団体・個人
【主な特典】 詳しくは、協賛者特典一覧をご覧ください。
【募集期間】 原則として、大会当日まで

※ ただし、大会直前に協賛していただいた場合は、協賛者特典の一部を受けることができない場合があります。

【申し込み方法】

別添の協賛申込書（団体協賛P.7、個人協賛P.8）に記載の上、郵送、ファクシミリ又は電子メールにてお申し込みください。また、協賛申込書は、大会ホームページからもダウンロードできます。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/262386.htm>

【申し込み先】

手話パフォーマンス甲子園実行委員会事務局
〒680-8570 鳥取市東町一丁目220
鳥取県庁 障がい福祉課内

電話 0857-26-7682 ファクシミリ 0857-26-8136

メールアドレス s-koushien@pref.tottori.lg.jp

※ 制度の詳細は、別紙「第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園協賛要綱」(P.9～)をご覧ください。



協賛にご協力くださる方へ！



団体協賛

特典はP.5へ

団体協賛とは、企業等が行う協賛のことをいいます。

【資金協賛】…1口**1万円**から、資金の提供をお願いします。

【物品協賛】…大会の実施に要する物品の提供をお願いします。



特典はP.6へ

個人協賛



個人協賛とは、個人が行う協賛のことをいいます。

【資金協賛】…1口**千円**から、資金の提供をお願いします。

【物品協賛】…大会の実施に要する物品の提供をお願いします。

【協賛物品の例】

- ・のぼり
- ・卓上のぼり
- ・参加者用バッグ
- ・参加者用タオル
- ・参加者用記念商品
- ・大会入賞チームへの副賞賞品
- ・大会出場チームへの参加賞賞品
- ・大会参加者、運営スタッフへ提供する飲食料品



団体協賛者特典一覧

協 賛 特 典	協 賛 金 額			備 考
	50万円 以上	10万円 以上	1万円 以上	
1 大会協賛者の呼称の使用	○	○	○	
2 大会ホームページへの協賛者名の掲載	○	○	○	掲載順は金額の高い順となります。 (同額の場合は申込順)
3 実行委員会が発行する刊行物への協賛者名の掲載	○	○	—	掲載順は金額の高い順となります。 (同額の場合は申込順)
4 大会プログラムへの協賛者名の掲載	○	○	—	掲載順は金額の高い順となります。 (同額の場合は申込順)
5 大会プログラムへの企業広告の掲載 (4色カラー)	○	○	—	・ 50万円以上 A4 1/2頁 ・ 25万円以上 A4 1/4頁 ・ 10万円以上 A4 1/8頁
6 協賛者ホームページへのリンク	○	—	—	

- (注) 1 大会とは、「第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」をいいます。
 2 物品協賛の場合は、金額換算します。
 3 上記1, 2, 3及び6は協賛後順次、4及び5は大会開催当日に特典が受けられます。
 4 全ての協賛者へ手話パフォーマンス甲子園実行委員会会長から感謝状を交付します。
 5 大会プログラムは、大会来場者に配付します。(最大2,500部発行予定。公式HPにも掲載)
 6 上記5の企業広告については、原稿を作成の上、大会開催1ヶ月前までに納入してください。
 7 大会当日、会場の受付にて協賛者の一覧を表示します。

広告掲載例 (大会プログラム)



個人協賛者特典一覧

協 賛 特 典	協 賛 金 額			備 考
	1万円 以上	5千円 以上	1千円 以上	
1 大会記念グッズの プレゼント	○	○	○	[記念グッズ例] キーホルダー、缶バッジ
2 大会実績報告書の 贈呈	○	○	○	大会の結果や記録をとりまと めた30p程度の冊子(カラー)
3 大会への優先入場	○	○	—	大会の観覧席をご用意します。
4 感謝状の送付	○	—	—	実行委員会会長からの感謝状 を交付します。
5 大会記念のDVDの 贈呈	○	—	—	大会のダイジェスト映像 (DVD)を進呈します。

- (注) 1 大会とは、「第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」をいいます。
 2 物品協賛の場合は、金額換算します。
 3 上記特典は、協賛者に対しそれぞれ1個(冊、席、枚)進呈します。
 4 上記1のグッズを選ぶことはできません。
 5 上記3を除く特典は、原則として大会終了後に協賛者へ進呈します。



【様式第1号】

第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園協賛申込書（団体協賛）

平成29年 月 日

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

会長 平井 伸治 様

住所又は所在地

名 称

代表者（役職・氏名）

第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園に向けて、下記のとおり協賛を申し込みます。

記

1 協賛の形態

資金協賛 ・ 物品協賛 （該当する協賛形態を○で囲んでください。）

2 協賛の内容（口数、物品名・数量、協賛者名の印字の有無等）

(1) 資金協賛

_____口 （協賛口数を記入してください（1口1万円）。）

※ 振込手数料は、貴企業等にてご負担をお願いします。

(2) 物品協賛の場合

ア 協賛物品名 _____

イ 協賛数量 _____

ウ 協賛者名印字の有無 有 ・ 無 （該当する方を囲んでください。）

3 提供予定日（該当する項目にレ（チェック）を入れてください。）

 実行委員会を送付する協賛申込受理書受領後、速やかに。 平成29年 月 日 （※ 指定日がある場合） 平成29年 月 日頃 （※ 時期が決まっている場合）

[御担当者について]

・所属 : _____

・氏名 : _____

・連絡先 : 0 _____ - _____ - _____

第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園協賛申込書（個人協賛）

平成29年 月 日

手話パフォーマンス甲子園実行委員会
 会長 平井 伸治 様

住 所 :

(ふりがな)
 氏 名 :

第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園に向けて、下記のとおり協賛を申し込みます。

記

1 協賛の形態（該当する形態をレ（チェック）で選び、内容を記載してください。）

資金協賛

協賛金額	口 (円)		※ 口数及びその金額をご記入ください。 (1口は千円となります。)
入金方法	振込		※ 希望する金融機関にレを記入してください。 ※ 振込手数料のご負担をお願いします。なお、同行の口座間の振込は手数料がかかりません。 ※ 申込者と振込名義人が異なる場合は、下方の連絡事項欄に振込名義人をご記入ください。
	<input type="checkbox"/> ゆうちょ銀行		
	<input type="checkbox"/> 山陰合同銀行		
	<input type="checkbox"/> 鳥取銀行		
	実行委員会事務局へ持参		※ 領収書の発行を希望する場合、下方の「連絡事項」欄にその旨を記入してください。
	その他		※ 具体的な方法を下方の「連絡事項」欄に記入してください。
入金時期	実行委員会を送付する協賛申込受理書受領後、速やかに。		
	月	日 頃	※ 時期の指定がある場合、こちらに記入してください。なお、およその時期で構いません。
連絡事項			

物品協賛

物 品 名	
数 量	
協賛者名印字の有無	有 ・ 無 （該当する方を○で囲んでください。）

2 協賛者のご紹介（協賛者は、公式ホームページ等でお名前をご紹介します。）

・ホームページ等に掲載するお名前 _____

紹介を希望しない。（紹介を希望しない場合は、右にレ（チェック）を入れてください。）

3 連絡先等について

※ 該当する方に○を記載してください。

・連絡先 0 _____ (電話 ・ ファクシミリ)

・メールアドレス _____ ※ 所持していない場合は掲載不要。

第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園協賛要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園（以下「大会」という。）の趣旨に賛同する法人その他の団体（以下「企業等」という。）又は個人が、大会及び大会関連行事（以下「大会行事」という。）に協賛する際に必要な事項を定めるものです。

(協賛)

第2条 この要綱において、協賛とは、企業等又は個人が、手話パフォーマンス甲子園実行委員会（以下「実行委員会」という。）に対して行う次の各号に掲げる行為とします。

- (1) 資金協賛 大会行事の実施に要する資金（以下「協賛金」という。）の提供
 - (2) 物品協賛 大会行事の実施に要する物品（以下「協賛物品」という。）の提供
- 2 企業等又は個人が行う協賛を以下のとおり定義します。
- (1) 団体協賛 企業等が行う協賛のことをいいます。
 - (2) 個人協賛 個人が行う協賛のことをいいます。
- 3 第1項第1号に掲げる協賛金の提供は、以下のとおりとします。
- (1) 団体協賛 1万円を1口とします。（協賛は1口単位とします。）
 - (2) 個人協賛 千円を1口とします。（協賛は1口単位とします。）
- 4 第1項第1号に掲げる協賛物品は、協賛者と実行委員会が協議して決定しますが、その例は別表1「協賛物品の例」とおりです。なお、協賛物品には協賛物品者の名称等を表示していただくこともできます。

(募集期間)

第3条 募集期間は、原則として大会開催日である平成29年10月 1日までとします。

(協賛依頼の対象者)

第4条 実行委員会は、大会の趣旨に賛同する企業等又は個人に対して協賛を依頼します。

(協賛の申込等)

第5条 協賛をお申し出いただける場合は、以下の第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園申込書（以下「申込書」という。）を実行委員会会長宛てにご提出ください。

- (1) 団体協賛 様式第1号
 - (2) 個人協賛 様式第2号
- 2 実行委員会会長は、申込書の提出があった場合、第10条第1項各号のいずれにも該当しないと認めるときは、申込者に対し書面により受理した旨を通知します。
- 3 様式第2号により申込者から提供を受けた個人情報、協賛の授受、協賛特典の贈呈及び手話パフォーマンス甲子園の広報等に伴う連絡調整に限って使用します。

(協賛金の振込等)

第6条 資金協賛を行おうとする企業等又は個人は、前条第2項による通知を受けた場合、実行委員会が指定する口座に協賛しようとする金額を原則として一括して納付ください。ただし、第3条に定める期間内で、協賛金を分割して納付することもできます。

- 2 協賛金の領収書は、原則として金融機関が発行する振込金受取書で代えさせていただきます。ただし、実行委員会は、申込者の希望により、協賛金の領収書を発行することもできます。

(協賛物品の受納等)

第7条 物品協賛を行おうとする企業等又は個人は、第5条第2項による通知を受けた場合、実行委員会と協議の上、決定した方法により、協賛物品を納入していただきます。

2 実行委員会は、申込者の希望により、協賛物品の受領書を発行することもできます。

(協賛の特典等)

第8条 第6条第1項又は前条第1項の規定により協賛を行った企業等又は個人(以下「協賛者」という。)に対する特典は、以下のとおりとします。なお、物品協賛による協賛者の特典については、実行委員会が、協賛内容から換算した金額により協賛金額の区分を判断することとします。

(1) 団体協賛 別表2「団体協賛者特典一覧」のとおり。

(2) 個人協賛 別表3「個人協賛者特典一覧」のとおり。

2 実行委員会は、前項に規定する協賛の特典以外に、必要に応じ、特典を追加することもあります。

(協賛金の使途)

第9条 協賛金は、次の各号に掲げるいずれかの経費に充てるものとします。

(1) 大会行事を広く周知するために要する経費

(2) 大会行事の実施に要する経費

(3) その他大会の開催に付随する経費で必要と認められるもの

(協賛申込の不受理等)

第10条 実行委員会会長は、申込者が、次の各号のいずれかに該当する場合は、申込書を受理しないものとし、申込者に対しその旨通知します。

(1) 特定の政治、思想、宗教等の活動を目的とした団体、又は大会を特定の政治、思想、宗教等の活動に利用する恐れのある者

(2) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団(以下「暴力団」という。)又は暴力団の構成員(以下「暴力団員」という。)であると認められる者

(3) 法令又は公序良俗に反する者

(4) 大会について、品位を傷つけ、又は正しい理解を妨げる恐れのある者

(5) その他実行委員会会長が不適當と判断する者

2 実行委員会会長は、第5条第2項により協賛の申込を受理された者が、その後、前項各号のいずれかに該当するに至った場合、又は前項各号のいずれかに該当することが判明した場合は、協賛を取り消すものとし、協賛者に対し、その旨を通知するとともに、原則として、協賛金、協賛物品を返戻します。

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

[別表 1]

協賛物品の例

物品名
のぼり
卓上のぼり
参加者用バッグ
参加者用タオル
参加者用記念商品
大会入賞チームへの副賞賞品
大会出場チームへの参加賞賞品
大会参加者、運営スタッフへ提供する飲食料品

(協賛物品には協賛者の名称等を表示していただくこともできます。)

[別表 2]

○団体協賛者特典一覧

協 賛 特 典	協 賛 金 額			備 考
	50 万円 以上	10 万円 以上	1 万円 以上	
1 大会協賛者の呼称 の使用	○	○	○	
2 大会ホームページ への協賛者名の掲載	○	○	○	掲載順は金額の高い順となります。(同額の場合は申込順)
3 実行委員会が発行 する刊行物への協賛 者名の掲載	○	○	—	掲載順は金額の高い順となります。(同額の場合は申込順)
4 大会プログラムへ の協賛者名の掲載	○	○	—	掲載順は金額の高い順となります。(同額の場合は申込順)
5 大会プログラムへ の企業広告の掲載 (4色カラー)	○	○	—	・50 万円以上 A4 1/2 頁 ・25 万円以上 A4 1/4 頁 ・10 万円以上 A4 1/8 頁
6 協賛者ホームペー ジへのリンク	○	—	—	

(注) 1 大会とは、「第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」をいいます。

2 物品協賛の場合は、金額換算します。

3 上記1, 2, 3及び6は協賛後順次、4及び5は大会開催当日に特典が受けられます。

4 全ての協賛者へ手話パフォーマンス甲子園実行委員会会長から感謝状を送付します。

5 大会プログラムは、大会来場者に配付します。(最大2,500部発行予定。公式HPにも掲載。)

6 上記5の企業広告については、原稿を作成の上、大会開催1ヶ月前までに納入してください。

7 大会当日、会場の受付にて協賛者の一覧を表示します。

[別表3]

○個人協賛者特典一覧

協賛特典	協賛金額			備考
	1万円以上	5千円以上	1千円以上	
1 大会記念グッズのプレゼント	○	○	○	[記念グッズ例] キーホルダー、缶バッジ
2 大会実績報告書の贈呈	○	○	—	大会の結果や記録をとりまとめた30p程度の冊子(カラー)
3 大会への優先入場	○	○	—	観覧席のご用意
4 感謝状の交付	○	—	—	実行委員会会長からの感謝状を交付
5 大会記念DVDの贈呈	○	—	—	大会のダイジェスト映像

- (注) 1 大会とは、「第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」をいいます。
 2 物品協賛の場合は、金額換算します。
 3 上記特典は、協賛者に対しそれぞれ1個(冊、席、枚)進呈します。
 4 上記1のグッズを選ぶことはできません。
 5 上記3を除く特典は、原則として大会終了後に協賛者へ進呈します。



全国高校生 手話パフォーマンス甲子園



“手話の聖地”鳥取県で全国の高校生が繰り広げる 『手話パフォーマンス』の祭典♪

全国の高校生がチームで手話による歌や劇、ダンスなどのパフォーマンスを披露し、優勝を競う「手話パフォーマンスの祭典」。

全国で初めて手話言語条例を制定した“手話の聖地”鳥取県で、平成26年に初めて開催。平成27年9月に第2回大会が、平成28年9月に第3回大会が開催された。

高校生自身や、パフォーマンスを見た多くの人たちに、手話の魅力や可能性を感じてもらい、手話の広がりを期待するもの。

高校生の一生懸命なパフォーマンスは、観ている人の心に響き、感動的なステージが繰り広げられる。



演技の様子

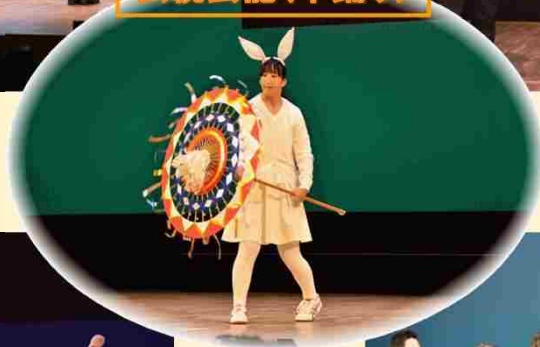
歌



劇



伝統芸能(傘踊り)



ダンス



コント





全国高校生 手話パフォーマンス甲子園



大会の開催実績

第1回大会

- 日時 平成26年11月23日(日・祝)
- 場所 鳥取県立生涯学習センター
(県民ふれあい会館)(鳥取県鳥取市)
- 参加 予選を通過した20チーム(22校)
※ 21都道府県から、41チームの参加申込みがあった。
- 来場者 約750名
- 入賞
 - ・優勝 田鶴浜高等学校(石川県)
※ 全日本ろうあ連盟賞も受賞!
 - ・準優勝 鳥取聾学校(鳥取県)
 - ・第三位 三重、相可、松阪工業高等学校(三重県)
 - ・審査員特別賞 奈良県立ろう学校(奈良県)



第2回大会

- 日時 平成27年9月22日(火・休)
- 場所 米子市公会堂(鳥取県米子市)
- 参加 予選を通過した20チーム(24校)
※ 22都道府県から、47チームの参加申込みがあった。
- 来場者 約1,550名
- 入賞
 - ・優勝 奈良県立ろう学校(奈良県)
 - ・準優勝 三重、相可、松阪工業高等学校(三重県)
 - ・第三位 クラーク記念国際高等学校
東京キャンパス(東京都)
 - ・審査員特別賞 田鶴浜高等学校(石川県)
 - ・全日本ろうあ連盟賞 奈良県立ろう学校
 - ・日本財団賞 奈良県立ろう学校
鳥取県立聾学校(鳥取県)



第3回大会

- 日時 平成28年9月25日(日)
- 場所 倉吉未来中心(鳥取県倉吉市)
- 参加 予選を通過した20チーム(21校)
※ 30都道府県から、61チームの参加
- 来場者 約2,000名
- 入賞
 - ・優勝 熊本聾学校(熊本県)
※ 全日本ろうあ連盟賞、日本財団賞も受賞!
 - ・準優勝 真和志高等学校(沖縄県)
 - ・第三位 奈良県立ろう学校(奈良県)
 - ・審査員特別賞 三井高等学校(福岡県)



第4回大会



日程：平成29年10月1日(日)開催！！

場所：とりぎん文化会館(鳥取県鳥取市)

※ 多くの高校生チームの参加申込み(7/3まで)、
大会へのご来場をお待ちしています！



【問合せ先等】

TEL : 0857-26-7682
FAX : 0857-26-8136

E-mail : s-koushien@pref.tottori.jp
公式HP : <http://www.pref.tottori.lg.jp/koushien/>

-14-

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園に係る今後の日程について

平成29年6月23日現在

日程	内容	備考
平成29年2月中旬 (2月17日承認)	H28 実行委員会 (書面会議)	第4回大会開催決定、基本計画、H28補正予算、実行委員会設置運営要綱改正
平成29年2月20日	H28 第4回企画推進会議	第4回大会開催要項、予選審査・選考方法
平成29年4月30日	第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の開催日決定	同日、日程及び第4回大会の開催要項公表
平成29年4月	H29 実行委員会 (第1回書面会議)	H29 収支予算
平成29年5月	大会チラシ、ポスター等の送付	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の高等学校、特別支援学校等 ・各都道府県、政令指定都市 (障がい福祉担当課、教育委員会) ・手話言語条例制定市町 ・各都道府県全国ろうあ連盟加盟団体 ・県内各市町村 ・県内公共施設 等
平成29年5月15日	参加申込み受付開始	
平成29年6月	H29 実行委員会 (第2回書面会議)	H28 収支決算・設置運営要綱の改正
平成29年6月23日	H29 企画推進会議 (第1回)	第4回大会実施計画、参加申込み状況
平成29年7月3日	参加申込み期限	
平成29年7月20日	予選審査動画の提出期限	
平成29年8月2~3日	予選審査会	鳥取県庁 (動画視聴による審査)
平成29年8月下旬	H29 企画推進会議 (第2回)	第4回大会実施計画、予選審査結果
平成29年秋 (本大会前日)	第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園リハーサル、交流会	とりぎん文化会館 ホテルニューオータニ鳥取
平成29年秋 (日曜日)	第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園本大会	とりぎん文化会館
平成29年11月中旬	H29 企画推進会議 (第3回)	第4回大会開催結果の報告、意見交換
平成30年2月上旬	H29 実行委員会総会	第4回大会開催結果、 第5回大会基本計画、H29 補正予算
平成30年2月下旬	H29 企画推進会議 (第4回)	第5回大会開催要項、選考方法

[参考] 平成29年カレンダー



手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議 出席者名簿
(平成29年度第1回)

役 職	所属 ・ 役職名	氏名 (敬称略)	出 欠 (代理：敬称略)
委員長	鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局長	宮本 則明	出
委 員	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 事務局次長兼福祉・労働委員会委員長	戸羽 伸一	出
	鳥取県手話通訳士協会	森原 早百合	出
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部	国広 生久代	出
	鳥取県手話サークル連絡協議会	田中 優子	出
	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 常務理事	野間田 憲昭	出
	鳥取県教育委員会事務局 教育次長	寺谷 英則	(議会对応)
	鳥取県高等学校長協会 会長	山根 孝正	出
	鳥取県私立中学高等学校長会 会長	佐伯 友茂	出
	鳥取県立鳥取聾学校 校長	三王寺 孝子	出
	一般財団法人全日本ろうあ連盟 青年部長	廣田 喜春	出
	国立大学法人筑波技術大学 教授	大杉 豊	出
事務局	障がい福祉課社会参加推進室 室長	明場 達朗	/
	障がい福祉課社会参加推進室 課長補佐	竹ノ内 司修	
	障がい福祉課社会参加推進室 係長	安永 孝文	